

令和4年度事業報告

I. 事業概要

令和4年度は、ロシアが令和4年2月24日、西隣にあるウクライナへの侵攻を始め、歴史上稀に見ることであり、未だに終結の兆しは見えません。この影響で石油やガスなどのエネルギーや原材料などの価格高騰が国民生活を直撃しています。さらには円安が著しく進行しているため多くの食品・製品を輸入に頼っているため、円安が物価に大きく影響し物価高騰に繋がり、その影響は今も続いています。一方、新型コロナウイルス感染症においては、令和元年12月に中国で初めて報告され、今もなお流行を見せていますが、令和5年3月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の変更が行われ医療体制等の見直しも行われ、令和5年5月8日から5類感染症に移行となり胸を撫で下ろすところです。このような厳しい現況の中、会員の拡大については、近年の定年延長、定年後の生き方の多様化などで、新規入会者の確保が依然厳しい状況となっています。

愛西市シルバー人材センターにおいても、前述した状況の中、公共施設・民間事業所の請負・派遣業務の受注・勤務は令和3年度に比べほぼ横ばいとなりました。また、各個人宅からの申込は、ほぼ従来通りあり、請負事業の就業件数は、3,188件(対前年比△222件、6.5%減)、配分金は1億2874万円(対前年比38万円、0.3%増)、労働者派遣事業の就業延人員は1,236人日(対前年比245人日、24.8%増)、契約金額は612万円(対前年比28万円、4.8%増)となりました。

各種事業についても、愛知県シルバー人材センター連合会のオンライン研修を始め、6月17日開催した令和4年度定時総会等、感染症対策を講じながら年度当初の計画通り、概ね開催することができました。

新規入会者につきましては、入会説明会を本所または佐屋支所において毎月開催し、毎月の「広報あいさい」の記事で開催案内をすることで、功を奏し1年間で31名(対前年比13名増)の方の新規入会とすることができました。退会者につきましては26名(対前年比13名減)となり令和4年度末の会員数は231名(対前年比5名増)となりました。詳しい事業内容につきましては次ページ以降に記載のとおりです。

当センターにおきましては、今後とも市民を始め、市当局並びに事業所、会員の皆様から信頼されるセンターと更なる組織の強化を目指し、会員及び役職員が一体となって努力してまいりますので、ご支援賜りますようお願いいたしまして、令和4年度の事業報告といたします。